

第六十四回
帝國議會
貴族院

六大都市ニ特別市制實施ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第六號

昭和八年三月二十五日(土曜日)午前十時
二十九分開會

○委員長(侯爵大久保利武君) ソレデハ是カラ開會イタシマス

○子爵大河内輝耕君 内務省ノ政府委員ニ一應御尋ネ申上ゲマスガ、此衆議院カラ提出ニナリマシタ少年教護法案ハ連日茲ニ討議ヲ致シマシタ、無論之ニ付テハ相當ノ修正ガ出ルコト存ジマスルガ、此修正ハ無論今後議セラルルコト致シマシテ、此修正ノ趣旨ヲ容レルコト前提イタシマシテ、ソシテ内務省ニ於キマシテハ此法律ノ成立ハ今日ノ思想界ノ現狀ニ鑑ミテ一日モ早ク成立スルコトヲ熱心ニ希望サレルモノト我々ハ承知シテ宜シイノデスカ、其點ヲ先ヅ政府委員カラ伺ヒタイ

○政府委員(丹羽七郎君) 只今大河内子爵カラノ御尋デアリマシタガ、本案ハ衆議院ノ提出デ、衆議院カラ送付相成ッタノデアリマスルガ、段々御熱心ナル御審議ニ依リマシテ關係省タル司法省、文部省トノ關係ガアルノデアリマスガ、ソレ等ノ省ト意見ガ一致スルコトニ相成リマスレバ、非常ニ

從來ノ感化法ノ不備ヲ補ヒマシタ餘程此時勢ニ適シタル案ニ相成リ得ルト思フノデアリマス、サウ致シマスレバ今日ノ社會狀勢カラ鑑ミ、又不良兒童ノ非常ニ多數アッテ、

是ガ始末ハ一日モ忽カセニ出來ヌト云フ現狀カラ鑑ミマシテ、此案ノ成立ヲ希望スル次第デアリマス、御答ヘ致シマス

○子爵大河内輝耕君 内務大臣ノ御意見ハ矢張り此案ノ成立ヲ非常ニ希望セラルルモノト、斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(男爵山本達雄君) 御問ノ通り、私モ此案ノ成立ヲ望ミマス

○子爵大河内輝耕君 私ハモウ内務大臣ニ對スル御問ハ、是デ止メマス

○委員長(侯爵大久保利武君) 外ノ諸君カラ、内務大臣ハ御尋デモアレバ此際御願ヒ致シマス

○岡喜七郎君 只今大河内子爵カラ内務大臣ニ御確メニナリマシタガ、修正案ガ出マシタ方ガ審議上便宜デハアリマセンデスカ

○子爵大河内輝耕君 懇談會ヲソレデハ願ヒマス、速記ヲ止メマシテ……

○委員長(侯爵大久保利武君) チョット速記ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(侯爵大久保利武君) 速記ヲ是カラ始メマス

○岡喜七郎君 過日來審議中ノ少年教護法案ハ衆議院ノ提出ニ係リマシテ、段々政府當局ノ御意見ヲ拜聽イタシマスルト、ソレ是レ内務省司法省ニ於テモ御異議ノアル點モアルヤウデアリマス、段々審議ヲ進メマシテ各委員ヨリ或ハ御懇談ナリ或ハ説明ヲ求メラレマシタ結果、左ノヤウニ修正ヲ致シマシタナラバ、蓋シ政府ニ於カレテモ御異議ノナイコト考ヘマスルノデ、私ハ茲ニ修正案ヲ提出イタシタイト考ヘマス、其修正案ハ第一條第一項ヲ改メマシテ第二項ヲ削ルノデス、第一項ハ「本法ニ於テ少年ト稱スルハ十四歳ニ滿タザル者ニシテ不良行為ヲ爲シ又ハ不良行為ヲ爲ス虞アルモノヲ謂フ」、斯ウ云フコトニ修正ヲ致スノデアリマス、ソレカラ第四條ヲ「少年教護院內ニ少年鑑別機關ヲ設クルコトヲ得」、斯フ改正ヲ致シマスノデアリマス、ソレカラ第八條ヲ「地方長官ハ左記各號ノ一ニ該當スル

者アルトキハ之ヲ少年教護院ニ入院セシムベシ」「一、少年ニシテ親權又ハ後見ヲ行フモノナキ者」、「二、少年ニシテ親權者又ハ後見人ヨリ入院ノ出願アリタル者」、「三、少年審判所ヨリ送致セラレタル者」、「四、裁判所ノ許可ヲ得テ懲戒場ニ入ルベキ者」、「地方長官ハ前項第一號及第二號ニ該當スル者ニ對シ前項ノ處分ヲ爲スノ外之ヲ少年教護委員ノ觀察ニ付スルコトヲ得」、斯ウ第八條ヲ修正イタスノデアリマス、ソレカラ第九條ハ其儘デアリマス、第十條ヲ斯ウ云フ風ニ修正イタスノデアリマス、「地方長官ハ第八條第二項第一號ニ該當スル在院者ヲ何時ニテモ條件ヲ指定シテ假ニ退院セシムルコトヲ得」、「前項ノ假退院者ハ之ヲ家庭其ノ他適當ナル施設ニ委託シ又ハ少年教護委員ノ觀察ニ付スルコトヲ得」、「假退院者ハ之ヲ在院者ト看做ス」、「第三項ニ「假退院者ニシテ指定ノ條件ニ違背シタルトキハ地方長官ハ之ヲ復院セシムルコトヲ得」、「第十一條「少年ノ在院期間及觀察期間ハ少年ノ滿二十歳ニ至ル迄トス但シ第八條第三號又ハ第四號ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラズ」、第十二條ヲ

「内務大臣又ハ地方長官ハ在院者ニ對シ教護ノ目的ヲ達シタリト認ムルトキハ之ヲ退院セシムルコトヲ得」ソレカラ第十七條ノ中ノ「第十一條」トアリマスルノ「第十條」ニ改メ、第十九條ノ「第十條」保護監督」ト云フ文字ガアリマス、其「保護監督」ト云フ文字ヲ削リマス、ソレカラ第二十四條ノ第二項ニ「前項ノ認定ヲ受ケタル者ハ他ノ法令ノ適用ニ關シテハ小學校ヲ卒業シタル者」ト云フ小學校ノ上ニ「尋常」ト云フ文字ヲ附加ヘルノデアリマス、尙ホ落シマシタガ、第二十條ノ「國庫ハ前條第一項ノ規定ニ依ル道府縣ノ支出ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ四分ノ一乃至二分ノ一ヲ補助ス」ト云フ其「四分ノ一乃至二分ノ一」ヲ削リマシテ、「六分ノ一ヲ補助ス」ト、斯ウ云フコトニ修正イタスノデアリマス、ソレカラ附則ノ第三項中ニ「第一條第一項」トアリマスノ「第一條」ヲ取りマス、右様ニ修正ヲ致シマスル勳議ヲ提出イタシマス、デ此修正ニ付キマシテハ過日來内務司法兩省及文部省モ御意見ノアル所ヲ伺ヒ、且又段々御打合せ等モ願ヒマシテ、斯ウ修正イタシマスルナラバ内務省ニ於テモ是非

トモ本案ノ成立ヲ希望スルト云フ御意見ノヤウニ拜聽イタシマスルシ、司法省文部省ニ於テモ御異議ノナイコトニ拜承イタシマシタノデ此修正ヲ提出イタシマスル次第デアリマス、何卒御同意ヲ願ヒタイト考ヘマス、尙ホ附加ヘテ申シマスルコトハ、此施行ニ際シマシテハ、或ハ若干ノ經費ノ増加ト云フコトニ相成ルヤウナ處レモアルシ、又免レナイ點モアラウカト考ヘマス、是ハ只今ノ所デハ俄ニ來年度ノ豫算ニ於テ多少ナリトモ増加ヲ見ルト云フコトハ無論豫算成立ノ今日、ムツカシイコトト考ヘマスデ、是ガ施行ニ當リマシテハ内務當局ニ於カレマシテハ、篤ト大藏省ト御協議ニナリマシテ、經費等ノ明年度ノ所ハ差支ナイヤウニ御商議ヲ願ヒタイト思ヒマス、其事後ニ及ビマシテハ尙ホ改善ノ努力ヲ盡サレマシテ、相當ナ費用デモ増加ヲ要スルヤウナコトニ相成リマスルナラバ然ルベク御配慮ニナルヤウニ致シタイト希望イタシテ置キマス、右様ノ理由ニ於テ修正案ヲ提出イタシマス

○委員長(侯爵大久保利武君) 速記ヲ中止シテ……

(速記中止)

○委員長(侯爵大久保利武君) 速記ヲ始め

テ……

○岡喜七郎君 先程修正案ヲ提出イタシマシテ修正ノ簡條ヲ申上ゲマシタ中ニ、申上ゲ間違ヲ致シテ居リマスカラ、更ニ改メテ申上ゲマスカラ御訂正ヲ願ヒマス、第十條ヲ左ノ通り改メマスコトヲ先程申上ゲマシタ中ニ「地方長官ハ第八條第二項第一號」ト申上ゲタヤウデゴザイマスガ、是ハ「第一項第一號又ハ第二號」ト云フコトニ相成リマスル譯デスカラ御訂正ヲ願ヒマス、ソレカラ第十九條中ノ「第十條」保護監督」ト云フ文字ノアリマスルノ「保護監督」ヲ削ルト申上ゲマシタガ、「第十條」保護監督、即チ八字ヲ削ルコトノ間違デゴザイマス、是モ「第十條」保護監督」ト云フ八字ヲ削ルコトニ御修正ヲ願ヒマス、ソレカラ第二十條、是ハ現行感化院法ヲ見マセデゴザイマシタノデ、考ヘ違ヒヲシテ申上ゲマシタノデス、勅令ノ定ムル所ニ依リ四分ノ一乃至二分ノ一ヲ補助ス」ト云フノ「六分ノ一ヲ補助ス」ト斯ウ申上ゲマシタガ、現行法ニ「六分ノ一乃至二分ノ一」ト云フコトニ現行法モナッテ居リマスノデスカラ、「四分ノ一」ト云フ四ノ字ヲ「六」ト云フ字ニ變ヘマスダケデ、即チ六分ノ一乃至二分ノ一ヲ補助ス」ト斯ウ申上ゲルノヲ考ヘ違ヒ致シマシタ、

是ニモ只今申上ゲルヤウニ「六分ノ一乃至二分ノ一ヲ補助ス」ト、斯ウ云フコトニ御訂正ヲ願ヒマス、其他ハ先程申上ゲマシタ通りデアリマス

○松村義一君 修正案ニ賛成イタシマス

○子爵大河内輝耕君 私モ賛成イタシマス

○菊池恭三君 私モ賛成イタシマス

○細田安兵衛君 私モ修正案ニ賛成イタシマス

○大澤徳太郎君 私モ賛成ヲ致シマス

○侯爵西郷從德君 賛成イタシマス

○子爵大河内輝耕君 此際私司法當局ニ伺ヒタイノデゴザイマスガ、此案ハ思想界險惡ノ際最モ急速ニ成立スルコトヲ必要トスル案デアリマシテ、現行法カラ見レバ一歩ヲ進メタモノデアラウト存ジマス、尙ホ親族法其他ノ改正ニ伴ヒマシテ、將來改訂ヲ要スルヤウナ場合ニ付キマシテハ我々モ協心協力シテ此修正ニ努力スルコトニ致シマスルガ、ソレマデノトコロ此案デ司法當局ハ御異存ガ無イモノト、斯ウ解シテ宜シウゴザイマスガ

○政府委員(八並武治君) 只今大臣ガ貴族院ノ本會議ノ方ニ行カレテ居リマスノデ、私ガ代理イタシマシテ申上ゲマス、御質問ノ趣旨ニ付キマシテハ、司法省ニ於キマ

シテモ色々相談ヲ致シタ結果、昨日ノ御懇談

ノ點ニ付キマシテモ十分熟議ヲ凝ラシマシ
タノデアリマス、只今ノ御意見ニ付キマシ
テハ全然同意ヲ致シマシテ、此案ノ修正モ
私ノ方ノ意見ヲ相當ニ御用ヒ下サツタコト
ニ付テハ私トシテハ同意スベキ立場ニ居リ
マスルノデ、異存ハ無イノデアリマス、尙
ホ只今ノ御意見モ結構ナ御意見ト拜聴イタ
シテ置キマス

○子爵大河内輝耕君 直ニ採決ヲセラレム
コトヲ希望イタシマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵大久保利武君) 是カラ採決
ヲ致シタイト思ヒマスルガ、本案ニ付テ岡
君カラ修正ノ御意見ガ出テ、段々修正意見
ニ御同意ノ御意見モアリマスルガ、此岡君
ノ修正案通りニ致シマシテ、全會一致ト看
做シテ本案ヲ可決シタト云フコトニ致シマ
シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵大久保利武君) ソレデハ本
案ハ修正案通りニ可決シタコトニ致シマ
ス、之ヲ以テ……

○子爵大河内輝耕君 暫ク懇談ヲ願ヒマス

○委員長(侯爵大久保利武君) ソレデハ速
記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○委員長(侯爵大久保利武君) 速記ヲ……

ソレデハ是カラ衛生組合法案ニ付テ審議ヲ
致シタイト思ヒマス、政府委員モ御出席デ
アリマスカラ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス
○岡喜七郎君 私ハ初ノ委員會ノ日ニ病氣
デ缺席ヲ致シマシタノデ、既ニ御質問ニナ
タコトデアルカ知レヌト考ヘマスケレド
モ、其後コチヲノ速記モマダ手ニ入リマセ
ヌノデ讀ミマセヌカラ、重複ニ互ルカモ知
レヌケレドモ簡單ニ一應御聴キシテ見タイ
ト思ヒマス、衛生組合ノコトニ付テハ、多
年衆議院ニ於テ意見モアリマスルシ、曾テ
ハ内務省案トシテ殆ド今回衆議院デ提出シ
マシタ案ニ同ジ法律案ガ提出ニナツタ、當時
能クハ記憶イタシマセヌガ、貴族院ニ於テ、
此政府案ニ強制徵收ノコトガアリマシタノデ、
審議ガ進マズニ終ツタカト記憶イタシテ居
リマス、此度ノ衆議院提出案ニハ其コトガ無
イ、サウスルト當時ノ貴族院ノ意嚮ニモ合ッテ
居ル案デハナイカ、此組合法ト云フモノガ既
ニ事實ニ於テハ各府縣ニ隨分出來テ居リマシ
テ、惡イコトデモナシ又監督宜シキヲ得レバ
一向差支ノナイモノデハナイカト私共ハ考
ヘテ居ルノデアリマス、既ニ一旦政府トシテモ
政府案トシテ御出シニナツタ案デアルシ、此

案ニ付テハ政府ハ今日ドウ云フ御考ヲ御持
チニナツテ居ルノカ、承ハル所ニ依レバ御反
對ニナリ或ハ御賛成ニナツタヤウナ御答辯
ガ衆議院デモアツタヤウニ承ツテ居リマスル
ガ、今日ハドウ云フ此案ニ付テハ政府ハ御
考ヲ御持チニナツテ居ルカ、ソレヲ一ツ承
テ見タイト思ヒマス

○政府委員(大島辰次郎君) 誠ニ御尤ナ御
質問ダト存ジマスガ、私共ト致シマシテハ
五十九議會ニ政府案トシテ衛生組合法ヲ提
出イタシマシタ時ニ、貴族院ニ於キマシテ
色々御審議ガアツタノデアリマスケレドモ、
其場合ニ強制徵收ハイケナイノデアルト云
フ風ナ御審議ノアツタト云フ風ニハ考ヘテ
居リマセヌ、其外マア色々ノ點ニ付キマシ
テ非常ニ御慎重ナル御審議ガアツタ譯デア
リマシテ、サウ云フヤウナ御審議ノ經過ニ
モ考ヘマシテ先達テノ本委員會ニ於テ申上
ゲマシタ通り、衛生組合ノ制定ト云フコト
ニ付キマシテハ政府ハ目下根本的ニ、色々
ノ點ニ付キマシテ慎重考中デアリマシ
テ、マダ確信ヲ持ツタ結論ヲ得ル程度ニ達
シテ居ラヌノデアリマス、衆議院提出ノ衛
生組合法案ノ各條項ニ付キマシテ見マシテ
モ、又考究ヲ要スルト認メラレル點ガアル
ノデアリマス、ソレデアリマスルカラ政府

ト致シマシテ、根本的ニ反對ヲスルト云フ
譯デハゴザイマセヌケレドモ、今直ニ本案
ニ賛成ヲスルト云フ譯ニハ參ラヌノデアリ
マス、併ナガラ兩院ニ於ケル御審議ノ經過
ニ鑑ミマシテ、成ルベク速ニ成案ヲ得ルコ
トニ努メマシテ、又成案ヲ得マシタ上ハ速
ニ衛生組合法案ヲ議會ニ提出シ得ルヤウニ
最善ノ努力ヲ盡シタイト、斯ウ云フ風ニ考
ヘテ居ルノデアリマス

○松村義一君 只今岡サンノ御質問ニ依ッ
テ政府委員カラ御答ゴザイマシタガ、此
衆議院提出ノ衛生組合法案ニ對シテハ十分
ニ未ダ研究ヲシテ居ラヌカラシテ十分確信
ヲ得テ居ナイガ、將來能ク研究ヲスルト云
フ御話ハ諒ト致シタノデゴザイマスルガ、
御承知ノヤウニ衛生組合法案ハ數年前ニ政
府ガ御提出ニナツタコトガアリマス、殊ニ先
達テノ委員會デモ政府委員カラ御話ノヤウ
ニ、此法案ハ時ノ内閣ノ政策ニ依ッテ決ス
ルト云フヤウナ問題ニアラズシテ、事務的
ノモノデアアルノデアリマス、其事務的ノモ
ノデアリマスル法案ヲ數年前ニ政府ガ提出
シテ置キナガラ、今日衆議院ガ之ヲ提出シ
テ議決シタモノハ大體ニ於テ前回政府ガ提
出サレタモノト内容ヲ同ジウスルモノデア
ルノニ拘ラズ、マダ今日ニ於テ十分ニ是ガ

研究が出来ナイト云フコトハ忌憚ナク申上
ゲマスナラバ、内務省事務當局ニ於テ未ダ
研究ヲ十分ニシテ居ラナイ、更ニ遠慮ナク
申上ゲマスナラバ、此コトニ付テ多少ノ懈
怠ガアルノデヤナイカト迄疑ハレルノデア
リマス、ソレハ誠ニ遺憾デゴザイマス、併
シ過ギタコトハ仕方ガナイノデアリマスガ、
先程御話ノヤウニ今同衆議院ニ於ケル審議
ノ狀況、尙ホ本貴族院ニ於ケル審議ノ狀況
ニ鑑ミラレマシテ、一ツ十分ニ衛生組合ノ
問題ニ對シテ研究ヲ續ケラレマシテ、先程
御言明ノヤウニ誤リ無ク將來ニ處サレムコ
ルヲ切ニ希望イタスノデアリマス

○委員長(侯爵大久保利武君) チョット申
上ゲマス、衛生局長ハ今兩院協議會開會中
デ急ニ出席シテ呉レト云フ要求ヲ申來テ
居ルノデアリマス、簡單ナモノデアレバ、
此際……

○大澤德太郎君 ソレデハ極メテ簡單ニ申
上ゲマスガ、只今岡サンカラノ御質問ニ對
シテ御答ノコトモ拜承シタノデアリマス、
私モ此前ノ委員會ニ於テ似タヤウナ質問ヲ
シタノデアリマス、ドウモ一旦政府ガ五十九
議會ニ似タヤウナ案ヲ御出シナッテ居ッテ、
サウシテ今度ハ根本的ノ御考究ガシテナイ
ト云フヤウナ御答辯ハドウシテモ私ハ腑ニ
落チナイノデアリマス、併シ是モドウモ爭ッ

テ見テモ仕方ガナイ譯デアリマスガ、實ハ
此委員會ハ外ノ案ヲ色ニ付託サレテ居リマ
シタ關係上最終ノ日ニ至ルマデ開クコトガ
出來マセナンダノデ、本日マデノ間ニ機會
ガアレバ申上ゲタカッタノデアリマスガ、折
角衆議院デア、云フ提案ヲサレテ、ソレガ
可決ニナッテ貴族院へ廻ッタノデアリマスガ
ラ、我々モ何トカシテ政府ノ御考慮ヲ煩ハ
シテ、若シアノ案ノ中ニ何カ政府ニ於テ修
正デモ期セネバナラスト云フヤウナ簡條ヲ
御持チニナッタナラバ、宜シク修正ノ意見デ
モ我々ニ御示シテ下サレタナラバ、又我々
モ大イニ其點ニ付テ考慮スル考ハ十分アッ
タノデアリマス、併シ是モ最早今日ニ至ッ
テ、サウ云フコトヲ申上ゲテモ時期ガ少シ
後レタヤウナ譯デアリマス、私ハ今回ノ案
ガ議院提出案デアアルガ爲ニ、政府ニ於テ餘
リニ熱心ニ之ヲバ御研究下サレナカッタト
云フコトヲ甚ダ私遺憾ニ思フノデアリマ
ス、併シ是モ今更追究シテモ仕方ガナイノ
デアリマスガ、前刻ノ御話デハ成ルベク早
ク政府案トシテ出シタイト云フコトモ承ハ
リマシタガ、是ハ全國ノ數千ノ組合デ大イ
ニ熱望ヲシテ居ル問題デアリマスカラ、遅
クトモ次ノ議會マデニハ是非一ツ政府案ト
シテ御提出ニナラムコトヲバ切望スル次第デ

アリマス、申上ゲタイコトモゴザイマス
レドモ、唯此希望ダケヲ申述べテ置キマス
○委員長(侯爵大久保利武君) 尙ホ衛生局
長ニ御尋ガアレバ更ニ御出ヲ願フト云フコ
トニシテ、兩院協議會ニ於テ醫師法案ニ付
テ度々出席ノ要求ガアリマスカラ、尙ホ何
カアレバ更ニ一ツ御出ヲ願ヒタイト思フノ
デアリマス

○岡喜七郎君 明年ノ議會ニデモ必ず御出
シニナルト云フ御自信ト御確信ヲ御持チニ
ナッテ居ルノデアリマスガ

○政府委員(大島辰次郎君) 事務當局ト致
シマシテ、只今ノ質問ニ對シテハ、キリト
御答ヘスルコトハチョット出來マセスノデ
ゴザイマスガ、先程申上ゲマシタ通り出來
ルダケ速ニ成案ヲ得ルコトニ努力イタシタ
イト存ジテ居リマス、其邊デドウカ御諒承
ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(侯爵大久保利武君) 速記ヲ中止
シテ

(速記中止)

○委員長(侯爵大久保利武君) ソレデハ速
記ヲ始メテ……只今内務省ノ政府委員ガ御
見エニナリマシタカラ、御質疑ヲ願ヒマス
○岡喜七郎君 先程此法案ニ付テ御尋ヲ致
シマシテ、衛生局長カラ御話ガアリマシタ

ガ、要スルニ不備ナ點ガ多イ、尙ホ根本的
ニ研究ヲシテ成ルベク速ニ政府案トシテ提
案スル考デアルト云フ御答辯ヲ得タノデア
リマス、尙ホ政務次官ニ伺ッテ見タイト思
ヒマスルガ、此法案ハ御承知ノ通り、一見
政府案トシテ提出サレマシタル案ニ殆ド變
リハ無イヤウニ見受ケル、無論二三變タ
所ガアルヤウデアリマス、而シテ此衛生組
合法ニ付テハ申上ゲマス迄モナク、多年兩
院ノ問題ニナッテ此法案ノ成立ヲ熱望シテ
居ルノデアリマス、既ニ政府案トシテモ、
御提出ニナッタ位デアリマスカラ、御研究ハ
十分ニ積ンデ居ルコトト私ハ拜承スルノデ
アリマス、然ルニ尙ホ不備ナ點ガ多クアッテ
根本的ニ研究ヲ重ネナケレバナラスト云フ
斯ウ云フ御答辯ハドウモ一向判斷ニ苦ムノデ
アリマス、此衛生組合法案ガ衆議院ニ提出
サレマシタノハ二月ノコトデ隨分長イ月日
ガ、一月以上ノ月日ガアルノデアリマスガ
ラ、眞ニ内務省ニ於カレテ此法案ガ必要デ
アルト御認メニナルナラバ、ソレカラデモ、
不備ナ點ハ斯ウモ直シタラ、ア、モ修正シ
タラト云フ御意見位、ソシナニムヅカシイコ
トデヤナイノデアアルカラ、若シ此法案ガ内務省
トシテ今日ニナッテ不用デアルト云フ御意見ナラ
バ、是ハ別問題デアル、近キ以前ニ政府案トシ

テ御出シニナッテ、政務次官ハ尙更御承知
デアラウト思フノデアリマスガ、一體ドウ
云フ御扱ヒニナル御考デアルノカ、又衛生
局長ハ成ルベク速ニ成案トスルト言ハレル
コトハ、來ル議會ニハ、遅クトモ來ル議會
ニハ政府案トシテ出スト云フ御信念ノ下ニ
御説明ニナッテモノデアリマセウカ、幸ニ
御出席ヲ得マシタカラモウ一度詳細ニ御説
明ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(齋藤隆夫君) 御説ノ通りデア
リマス、前年濱口内閣ノ時ニ政府カラシテ
衛生組合法ヲ貴族院ニ提出イタシマシテ私
モ政府委員トシテ出席シタノデゴザイマス
ルガ、色々審議ノ末議論ガ起リマシテ、遂
ニ審議未了ニナッテ居ルノデアリマス、其
時ノ論點ハ色々ゴザリマシタケレドモ、主
トシテ此衛生組合法ニ關スル費用ヲ強制的ニ
徴收ヲスルコトガ宜シクナイト云フヤウナ
コトガ色々ムヅカシイ問題ニナッタヤウニ
記憶シテ居リマス、所ガ此法律案ニ於キマ
シテモ、其點ヲ取ッテ居ルヤウナ次第デゴ
ザイマシテ、貴族院デ難問ト思ハレテ居ル
部分モ抜キ去ッテ居リマスカラシテ、ノミ
ナラズ前ニ政府案トシテ出シマシタ關係モ
アリマスカラシテ、衛生組合法ノ制定ニ
付テ、趣旨ニ於テ政府ガ反對ヲスルト云フ

ヤウナコトハ、是ハ出來ナイ立場ニアリマ
ス、此コトハ衆議院ニ於ケル今回ノ委員會
ニ於キマシテモ明白ニ私カラシテ申述ベタ
ノデアリマス、所ガ事務當局ノ方色々調
ベマスルト云フト、事務的見地カラシテ、
尙ホ數箇ノ考究ヲ要スルコトガアルカラシ
テ、今遽ニ此案其モノニ同意ヲスルコトハ
シ兼ネルト云フヤウナコトニナッテ居リマ
スノデ、此事務的方面カラ見マシタ考究事
項ハ、今直ニ之ヲ解決スルコトガ出來ルモ
ノデアアルコト云フコトハ、私自身ニ於テハ
能ク分リマセヌガ、是ハ衛生局長カラ能ク
御話シテアルコトト思ヒマスガ、御説ノ通
リ斯ウ云フ問題ハ何時マデモ研究々々ト云
フテ日ヲ過シテ居ルコトハ、是非非常ニ惡
イコトデアリマシテ、此問題ノミニハ限リ
マセヌ、ドウモ私餘リ役所ノ事務ノコトニ
ハ精通シテ居リマセヌカラ、議會ニ法律案
デモ、建議案デモ或ハ請願デモ出マスルト
云フト、考究中々々々ト云フコトデ、長タ
ラシク日ヲ送ルト云フコトガ是迄ノ慣例ニ
ナッテ居リマスガ、非常ニ惡イコトデア
ルト思ヒマス、ヤレルモノナラヤル、ヤラヌ
モノナラヤラヌト、キッパリシマセヌト行
政事務ハ上リマセヌノデゴザイマスカラ、
御話ノ通りニ斯ウ云フ問題ニ付キマシテ

モ、衆議院ニ提出セラレマシテカラ以來相
當ノ月日ガアルノデアリマスカラシテ、此
問題ガ此期間ニ絶對ニ決マルコトガ出來ヌ
ノデアアルナラバ兎ニ角、出來ル性質ノモノ
ナラバ決メテ委員會ニ臨ムノガ政府トシテ
採ルベキ道デアルト思ヒマス、併シ其内容
ノコトハ先程モ申シタ通り實ハ分リマセヌ
デ、此案全體ト致シマシテハ、趣旨ニ於テ
ハ政府ハ絶對ニ反對スルト云フコトハ出來
マセヌ、併シ又事務的方面カラ考ヘマシテ
絶對賛成スルコトモ出來ナイ立場ニアリマ
スカラシテ、其邊ハドウゾ宜シク御了承ヲ
願ヒマス、此案ガ兩院ヲ通過スレバ無論法
律トナッテ現ハレルノデアリマスガ、若シ
不幸ニシテ……不幸カ幸カ知リマセヌガ、
貴族院ニ於テ他ノ方ニ決マルコトニナリマ
シタナラバ、次ノ議會ニ於テ無論出サナケ
レバナラヌト思ヒマス、出スベキ義務ガ政
府ニアルト思ヒマス、其點ヲ十分御諒承下
サイマシテ、御決定アランコトヲ御願ヒ致
シマス

○岡喜七郎君 御説明ハ能ク了解イタシマ
シタ、先刻政務次官ハ御イデアアリマセヌ
デシタガ、衛生局長ノ事務的ノ御説明ニ
依ッテ見ルト云フト、費用ノ強制徴收ノ點
ガ私モ確ニ貴族院デハ其點ニ重キヲ置イタ
議論ガ起ッテ、結局審議未了ニナッテ居
ノデアリマスガ、先程衛生局長ノ御説明デ
ハサウ云フヤウナ點デハナイト、斯ウ獨斷
的ニ御説明ニナッテ居リマシタガ、是ハ私
ハ間違デアラウト思ヒマス、兎モ角モ隨分
長イ問題ニナッテ居リマスモノガ、事務當
局ガ一體サウ云フ迂濶ナコトヲ考ヘラレテ
居ルト云フノハ非常ナ間違デナイカト思ヒ
マス、殊ニ今政務次官モ御同感ノヤウデア
リマシタガ、是ハ二月ニ衆議院ニ提出ニ
ナッタノデアリマス、兎角衆議院デ提出サ
レタ案ト云フモノニ付テハイツモ政府ハ頗
ル冷淡ナ態度ヲ執ッテ居ルノデナイカト私
共ハ考ヘル、貴族院ガ提案シヤウガ、衆議
院ガ提案シヤウガ、苟モ時勢ノ進運ニ相應
スルモノナラバ、出來ルダケ急速ニ成案ヲ
見ルコトガ國家ノ爲ニ御同様なトシナケレ
バナラヌモノデナイカト思フ、既ニ此委員會
ニ於キマシテ付託サレマシタル少年教護法
ノ如キハ今日ノ時勢ニ顧ミテ必要缺クベカ
ラザルモノデアアル、少ナクトモ多少ノ改善
ヲ見レバ結構デアルト云フノデ、司法省ガ
大分反對デアッタヤウデアリマスガ、委員
諸君ガ熱心ニ、ドウ云フ所ガイカヌト云フ
ヤウナ御質問ノ結果、忽チ一日ニシテ兩省
ノ協議ヲ調ッテ、今日修正ノ動議ガ出マシ

テ、修正ノ通りニ全會一致決ヲ見ルヤ
ウニ相成タノデアリマス、ソレト比較シテ
見マシテモ、此案ノ如キハモット簡單ナモ
ノデハナイカ、既ニ今日事實ニ於テ澤山ア
ルノデアル、ソレガドウニカ斯ウニカ大シ
タ不都合ナク行テ居ル、ノミナラズ、
又衛生ニ非常ニ貢獻ヲシテ居ル、目ニ見エ
テ居ル事實デアルノデアリマス、ソレヲ事
務當局ニ多少ノ何ガアルカラト云フテ、ア
ルナラアルデ、斯ウ云フ點ガ不都合デアル
ト云フヤウナコトハ誰シモ分テ居ルコト
デアラウト思フ、凡ソモノニ完全ナル成案
ヲ見ルト云フコトハ何事デモムツカシイ、二
人寄レバ必ズ議論ガアル、併シ相當ノ所
デ、若シ事務當局ニ御意見ガアルナラバ、
政治的ニ何トカ之ヲ鞭撻ヲサレマシテ、成
案ニスルコトヲ圖ラレルノガ兎ニ角必要ナ
コトデナイカ、單リ此法案ノミデナイ、ド
ノ法案ニ付テモ同ジコトデアル、私共ハ、
長イ間斯ウ云フ案ノ爲ニ關係シテ居ル者ハ
此度デモ澤山上京シ、或ハ電報ニ、或ハ書
面ニ、誠ニ氣ノ毒ニ堪ヘナイ、若シ最早衛
生組合ト云フモノハ要ラス、市ナラ市、町
村ナラ町村デスウ云フ方法デ衛生ノ普及ヲ
圖ルカラ必要ガ無イト云フナラバ、斷然ソ
レニ引導ヲ渡シテオシマヒニナルガ宜イ、

ドウモ御趣旨ガ御尤デアルト云フ御趣旨ノ
下ニ、今申シマス通りニ、一月餘ノ、提案
ニナッテ以來月日ガアルニモ拘ラズ、而モ斯
ウ云フコトニ專念スベキ事務當局デアッテ、
何處ガ一體不都合ナンデアルカ、斯ウ改良
スレバ宜イノダト云フヤウナコトハ凡ノ
見當ガツカヌト云フコトハ不思議ニ堪ヘヌ
ト思フ、併シ既ニ斯ンナニ切迫シテ居ル今
日、今更ソソナコトモ出來マスマイガ、少
ナクトモ若シモ此委員會ノ結果成案ニナラ
ナイト云フコトニデモナリマシタナラバ、
少ナクトモ來ル議會ニハ御提案ニナッテ成
案ヲ得ルヤウ、是非願ヒタイト斯ウ考ヘル
ノデアリマス、尙ホ若シモ此委員會デ假ニ
幸ニモ是ガ通過イタシマシタナラバ、内務
省ニ於テハ喜ンデ御賛成ニナルベキモノト
考ヘマシテ宜シウゴザイマスカ
○政府委員(齋藤隆夫君) 御説ノ通り極メ
テ同感デアリマス、色々茲ニ調査シナクテ
ハナラヌ項目ガアリマスルガ、併シ無論此
案ガ此儘兩院ヲ通過イタシマシタナラバ、
之ヲ施行スルニ當リマシテハ必要ナル勅令
命令ト云フヤウナモノニ依ッテ、施行ノ目的
ヲ達スルコトモ出來ルダラウト思ヒマス、
若シ今議會ニ於キマシテ是ガ成立イタシマセ
ヌナラバ、次ノ議會ニ於テハ必ズ出サネバ

ナラヌト思ヒマス、又出サネバ政府ノ義務
ガ濟マヌト思ウテ居リマス、御説ノ如ク此
組合法案ノ根本ニ於テ反對デアルナラバ仕
方ガ無イノデアリマスガ、反對ト云フコト
ハ言ヘナイノデアリマス、又反對スベキモ
ノハアリマセヌ、全國各地ノ衛生組合カラ
モ、此法ノ制定ニ付テ隨分熾烈ナル要求ガ
アルノデアルカラシテ、内務省トシテハイ
ツ迄モ其儘放ッテ置クコトハ出來ナイノデ
アリマス、兩院ヲ通過イタシマシタナラバ、
無論其趣旨ニ依ッテ之ヲ圓滿ニ施行シタ
イト思ウテ居リマス、若シ不成立ニナリマ
シタナラバ、次ノ議會ニ於テハ必ズ出スコ
トガ出來ルダラウト思ヒマス、御含ミ置ヲ
願ヒタイ
○子爵大河内輝耕君 私モ一ツ附加ヘテ置
キタイノデス、只今岡君カラ御述べニナリ
マシタコトハ、私モ全然賛成デアリマス、
幸ニシテ當局ノ言明ヲ得マシタコトハ誠ニ
宜イコトト存ジマス、唯衛生局長ガ先刻御
説明ノ時ニ、強制徵收ハ貴族院デハ餘リ反
對シナイノダト云フ風ニ考ヘラレタヤウナ
御辯明ガアリマシタノデスガ、是ハ私ノ解
スル所デハ全然間違ッテ居ル、御參考マ
デニ其沿革ヲ申上ゲマスガ、或ル公開
ノ席上ニ於キマシテ、是ハ皆様ニ誠ニ

恐縮デスガ、内部ノ事ヲ申上ゲマスガ、
研究會ノ部會ガアッタ、其時ニ當時ノ衛生
局長ガ説明ニ來ラレテ、此強制徵收ノ説
明ヲサレマシタ、デ私ガ何ノ氣ナシニ之ヲ
擱マヘテ、是ハ地方行政上大キナ問題ダ、
地方ノ負擔ガ重イト云フコトハ前カラ
知レ切ッテ居ルコトダノニ、今更又之ニ對シ
テ強制徵收ヲヤル、強制徵收ヲヤルナラバ
ソレモマダ宜イケレドモ、限度ガ決メテナ
イデヤナイカ、ドウシテ斯ウ云フコトガ出
來ルノダト云フコトヲ申シタ、サウシタ所
ガ明確ナ御答ガ出來ナカッタノデ、ソレデハ
是ハ急ギマセヌ、急ギマセヌカラ能ク特別
委員ト御協議ニナッたら宜シウゴザイマセ
ウト言ウテ、私ノ質問ヲ打切ッテ、其後ド
ウ云フ風ニ特別委員トノ協議ガ進ンダカド
ウカ知リマセヌガ、一委員カラ承ハルト、
ドウモ其點ガ合致シナイデ進マナイノダト
云フコトデアリマス、ソコデ將來御提案ニ
ナリマス時ハ、強制徵收ハ餘リ固執サレテ
ハイカヌト思フ、此十一條ノ原案ノ「衛生
組合ノ經費ハ組合同約ノ定ムル所ニ依リ組
合員之ヲ負擔ス」デ何等差支ナイト思ヒマ
ス、強制徵收ヲサレルト又引ッ掛リマス、殊
ニ此前ノ案ノヤウニ限度ヲ決メナイヤウナ
強制徵收ノヤリ方ナドヲヤレバ、尙イケナ

イ、法人ダカラ強制徴收シナケレバイケナイト云フヤウナ議論モアルカモ知レマセヌケレドモ、ソレハ一種ノ觀念論デ、學理デハサウ云フコトニナッテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、サウ云フコトヲドウゾ固執シナイデ、協議ヲシテ戴キタイト思ヒマス、如何デアリマスカ

○政府委員(齋藤隆夫君) チョット伺ヒマスガ、強制徴收ノコトヲドウツ云フノデスカ

○子爵大河内輝耕君 衛生局長ノ只今ノ御説明デハ、強制徴收ノコトハ貴族院デハ強ヒテ反對ガ無イト云フヤウニ仰シヤッタヤウニ聞エタノデアリマス、サウデナイト仰シヤレバソレデ宜シイガ、ソレデ私ノ解スル所デハ此ノ貴族院デ審議未了ニ終ラノハ、強制徴收ガ問題デアッタノデアル、強制徴收ト其限度ガ無イト云フ、其二點ガ問題デアッタ、ソレデ此次ニ御提案ニナリマス時ニ、又此強制徴收ヲ餘リ固執サレテ、ソナナ規定デモ入ッテ來ルト云フト、又審議未了ニ終ル虞レガアルカラ、其點ハ御注意ヲ願ヒタイ、斯ウ云フコトデス

○政府委員(齋藤隆夫君) 御趣旨ハ十分ニ服膺シテ置キマス

○大澤德太郎君 私ハ實ハ本日政務次官ノ御臨席ガ願ヘヌモノト存ジマシテ、前刻衛

生局長ニ私ノ希望ヲ申シテ置イタノデゴザイマスガ、幸ニ只今御臨席下サイマシタノデ、一言ダケ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、政務次官ニ於カレマシテハ衆議院ノ特別委員會ニ於キマシテモ、又只今ノ御話ノ中ニモ、本案ニ付テノ根本的ノ御反對ハ少シモ無イ、唯事務的ニ多少省内ニ御異論ノアルヤウナ御話デアリマス、又是ガ假ニ兩院ヲ通過スル場合ニハ、是モ又已ムヲ得ヌト云フヤウナ御趣旨ノヤウニモ伺フノデアリマス

ガ、御承知ノ通りニ此法案ニ付キマシテハ全國ノ數千ノ組合員ガ非常ニ猛烈ニ此法案ノ成立ヲバ期待致シテ居リマス、又彼等ハ本當ニ獻身の今日マデ衛生組合ノコトニ付キマシテハ盡力ヲ致シテ居リマス、我ミト致シマシテモ此法案ノ一日モ早く成立セシコトヲ希望シタ次第デアリマス、若シ大ナル御反對ガ無イ、所謂根本的ノ御反對ガ無イト云フコトデゴザイマスレバ、何ントカ此場合綺麗薩張リト兩院通過ノ場合ニハ、内務省ニ於テハ之ニ同意ヲスルト云フ言明ガ願ヘヌモノデゴザイマセウカ、尙ホ一ツ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(齋藤隆夫君) 最前申シマシタヤウニ趣旨ニ於テハ反對ガ出來マセヌガ、事務的の方面カラ考ヘマシテ、色々考究シナ

ケレバナラヌ所ガアルノデアル、考究ノ結果ガ未ダ現ハレテ居リマセヌ爲ニ、此案其モノニ付キマシテ今遽カニ政府ガ賛成デアルト云フコトハ、チョット言明シ兼ネルノデアリマス、其點ハ幾重ニモ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、併シ申ス迄モゴザイマセヌガ、兩院ヲ通過イタシマシタナラバ、法律ノ實行ニ付キマシテハ全責任ヲ負ウデヤラナケレバナラヌ、是ハドウモ致シ方ガナイ

○岡喜七郎君 重ネテ御尋ネ致シマスガ、事務的の何カ或ハ細カイコトデ御願承知デモアリマスマイシ、又御話モムツカシイカト思ヒマスケレドモ、併シ殊ニ只今ノ政務次官ハ能ク御承知ニナッテ居ル筈ダト思ヒマスガ、政府案ガ一旦出來ルマデ之ヲ研究サレテ、練ッテ、練ラレタ案ト殆ド違ヒハナイト思フ、ドウ云フ點ガ事務的のニ支障ガアルノデアリマセウカ、伺フコトガ出來レバ伺ヒタイ

○政府委員(齋藤隆夫君) 是ハコレ迄衛生局長ガ御話シタト思ヒマスルガ、私チョット御答ヲスルコトハ實ハシニクイノデスガ、是ハ衛生局長カラ御話シタデセウカ

○委員長(侯爵大久保利武君) アリマシタ

○岡喜七郎君 私ハ實ハ甚ダ相濟ミマセヌガ、最初ノ日ニ病氣デ出マセヌノデ、速記

モ未ダニ手ニ入レマセヌノデ、實ハ分リマセヌノデスガ、先程衛生局長ニソナナコトヲ承ッテ見ヤウト思ヒマシタガ、兩院協議會ノ方デ頻ニ呼びニ來ラレマシタノデ、行カレナイ、ソレデ遺憾ナガラ能ウ是ハ御伺ヒスルコトガ出來マセヌデシタ、無理ニ御願ヒスル譯デハナイノデスガ、併シ只今言ハレマシタヤウニ、省トシマシテハ、是ハハツ貴族院ヲ通ッタラ……、御賛成ニナルナラ通スヤウニト云フ譯ニハ參リマセヌノデゴザイマスカ

○政府委員(齋藤隆夫君) ドウモ此案其モノニ付テ、内容共ニ賛成デアルカラシテ、通過ニ御賛成スルト云フコトハ、チョット今言ヒ兼ネルコトニナッテ居リマス、其點ハ惡シカラズ願ヒマス、ソレカラシテ事務的の方面カラシテ、ドウ云フコトヲ考ヘネバナラスカト云フコトヲ私カラシテ一應申シマス

○岡喜七郎君 モウ宜シウゴザイマス、承ッテモ結局同意ガ出來ナイト云フコトデアレバ、仕方ガアリマセヌ

○委員長(侯爵大久保利武君) 外ニ御質問ハゴザイマセヌカ

○子爵大河内輝耕君 此委員會ハ六大都市ニナッテ居リマスカラ、此機會ヲ利用イタシ

マシテ、極ク簡單ニ六大都市ニ關聯シテ質問イタシタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(侯爵大久保利武君) 宜シウゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 是ハ大臣ニ伺フ筈デアリマスガ、政務次官ニハ少シ御迷惑ナコトト思ヒマスガ、政務次官ガ御答ヘ下サツテモ少シモ差支ゴザイマセヌ、私トシテハ政務次官ノ御意見ト萬一大臣ノ御意見ガ是ト相違イマシトラバ、大臣ハ如何ナル時期ニ於テモ、如何ナル時ニ於テモ、本會議議御發言ナスツテ差支ナイノデゴザイマスカラ、重大ナコトデアリマスカラ、是非訂正ヲ願ヒタイ、又ハキリト答ヘテ戴キタイ、其第一ハ東京都制案ハ來年出スヤ否ヤ、第二ハ東京都制案ノ區ノ權限ガ、アレガ餘程問題ダト思ヒマス、此點ニ付テハ十分御熟考ヲ願ヒタイ、此點ガ十分御熟考ヲ願ハナイト、ナカ／＼成立ガムツカシイト思ヒマス、端的ニ申上ゲレバ、區ハ今ノ權限ダケ持ッテ居レバ無難ダト思フノデアリマス、貴族院ノ通過ハ樂ナヤウニ、是ハ私ダケノ考デ、皆様ハ何ト御考ヘニナッテ居ルカ、私ハサウ云フ風ニ感ジマス、ソレカラ第三ノ點ハ今ノ東京市政ノ現狀腐敗ハ實ニ何トモ申シ

ヤウガナイ、ソレデ次第二危險思想ガ出來マシテ、政黨否認ト云フヤウナコトヲ盛ンニ言ハレル、私共ハソシナ考ハ持タナイケレドモ、是非トモ政黨ヲ立派ナモノニシタイト思フノデスガ、政黨否認ノ聲ノ傍ラ、東京市ヲアンナ狀態デ御置キニナルト云フコトハ、政黨否認ノ聲ニ油ヲ掛ケルヤウナモノデ、誠ニ立憲政治ノ立場ヲ擁護シタイト云フ立場ノ者カラ見ルト御話ニナラナイ狀態、當局ト致シマシテモ、政界ノ先輩トセラレテモ、チット御盡力ニナツタラ如何カ、餘リヒドイ狀態デハナイカ、内外ニ對シテモ外聞モ惡イシ、又思想界ニ及ボス影響モヒドイヤウダト思フノデスガ、此三點ニ付キマシテ御意見ヲ御伺ヒ致シタイデスガ

○政府委員(齋藤隆夫君) 私ノ御答ヘ致シマスルコトガ内務大臣ノ考ト違ヒマシタナラバ、御答シマシタ後ニ内務大臣ニ斯ウ云フコトヲ答ヘタト云フコトヲ話シテ置ク積リデアリマス、東京都制案ヲ來年度ノ議會ニ出スカ出サヌカト云フコトハ内務大臣自身ニ於テモチヨット御答ガ出來ヌカト思ヒマス、ト云フノハ御承知ノ通りハナカ／＼是ハ問題デゴザイマシテ、都長ノ選舉其他區ノ權限並ニ地域等ニ付キマシテ隨分此錯

雜シタ議論ガアルト云フコトハ今回提出イタシマシタ後ニ於テモ衆議院ノ委員會ニ於テ明デアリマスガ、之ヲバ能ク整備イタシマシテ兩院ヲ通過スルコトノ出來ルヤウニスルニハ餘程考ヘネバナラスコトデアラウト思ヒマス、今回ノ經驗ニ鑑ミマシテ來年ノ議會ニ於テ出スコトガ出來ルカト云フコトハチヨット明言ハ出來兼ネル次第デアリマス、區ノ權限ノコトモドウシトラ宜イカト云フコトヲチヨット明言シ兼ネルト思ヒマス、是亦來年モ同ジコトガラウト思ヒマス東京市府ノ腐敗ニ付キマシテハ是ハ誠ニ困タモノデゴザイマシテ、東京市ハ一ノ地方行政區劃ニナッテ居リマスケレドモ、日本ノ首府デアリマスルシ、殊ニ輦轂ノ地ニ於ケル極メテ大切ナル地デゴザイマス、此市ノ現狀ガ今日ノヤウニナッテ居ルト云フコトハ實ニ一ノ東京市ダケノ問題デナクシテ、日本全國ノ政治上、社會上、其他ノ方面ニ非常ナ惡イ影響ヲ及ボスコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、監督ガ行届カヌト云フ點モゴザイマセウガ、將來監督ノ任ニ當リマス所ノ東京府及最高ノ監督權ヲ持ッテ居リマス内務省等ニ於キマシテハ出來得ル限リ嚴重ニ監督ヲシテ、東京市ノ廓清ヲ圖ラネバナラスト云フコトハ申ス迄モナイコト

デアリマス、ドウ云フ工合ニシテ監督シトラ宜イカ、其監督ノ方法ニ付キマシテハ問題デアリマスガ、誠ニ困タモノト思ヒマス、能ク是ハ内務大臣ニ御話シ致シマシテ、内務大臣自身カラシテ御答ヘナスベキ新ナコトガアリマスナラバ、本會ニ於キマシテモ、委員會ニ於キマシテモ今日中ニ何か御答ヲスルヤウニ致シマス

○委員長(侯爵大久保利武君) 外ニ御質疑ゴザイマセヌデスカ

○子爵大河内輝耕君 速記ヲ止メテ戴イテ

○委員長(侯爵大久保利武君) 速記中止

(速記中止)

○委員長(侯爵大久保利武君) 速記開始、ソレデハ是デ今日ハ散會イタシマス

午後零時十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長	侯爵大久保利武君
委員	侯爵西郷 從德君
	子爵大河内輝耕君
	岡 喜七郎君
	松村 義一君
	菊池 恭三君
	細田安兵衛君
	大澤德太郎君

國務大臣

內務大臣 男爵山本 達雄君

政府委員

內務政務次官 齋藤 隆夫君

內務省衛生局長 大島辰次郎君

社會局長官 丹羽 七郎君

司法政務次官 八並 武治君

貴族院昭和八年法律第三號中改正法律案特別委員會議事速記錄第一號正誤

頁段 行 誤

正

四 四 三 モノニナルカ

大部品物ニナツテ居ルカ

五 三 一 三 單價トカ

「タンク」製造費トカ

貴族院關稅定率法中改正法律案特別委員會議事速記錄第三號正誤

頁段 行 誤

正

一 一 四 改正竝

改正法律案竝

同 同 五 改正竝

改正法律案竝

貴族院行政執行法中改正法律案特別委員會議事速記錄第七號正誤

頁段 行 誤

正

三 四 九 ○子爵高木正得君

○子爵富小路隆直君

貴族院辯護士法改正法律案特別委員會議事速記錄第一號正誤

頁段 行 誤

正

一 一 六 板谷宮吉君

岩田宙造君

同 同 一 二 岩田宙造君

板谷宮吉君

一 二 一 一 五 板谷宮吉君

岩田宙造君

同 同 二 一 岩田宙造君

板谷宮吉君

昭和八年三月二十七日印刷

昭和八年三月二十七日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局